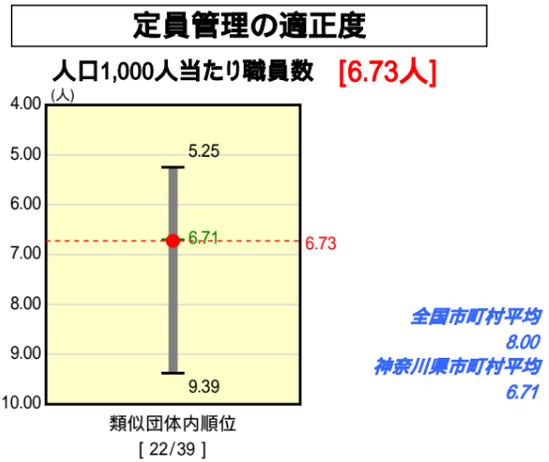
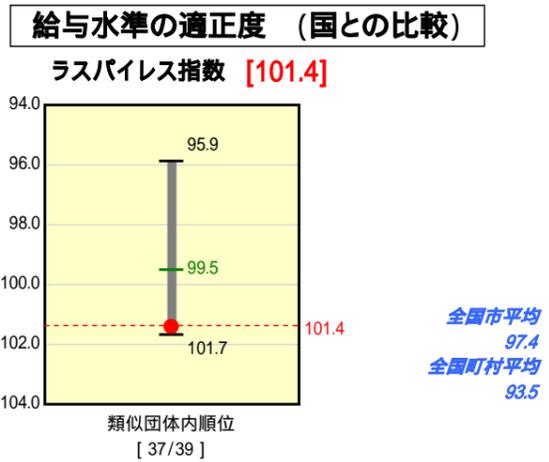
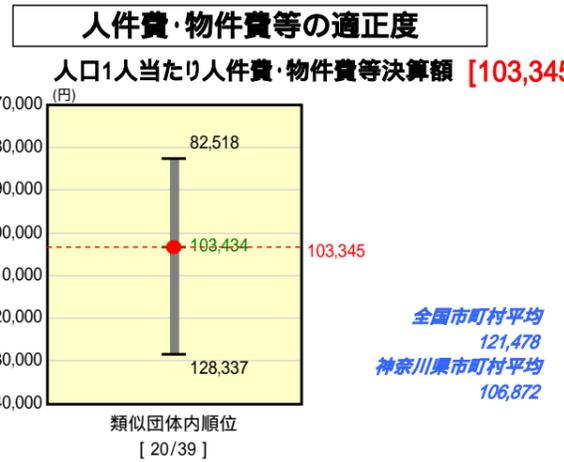
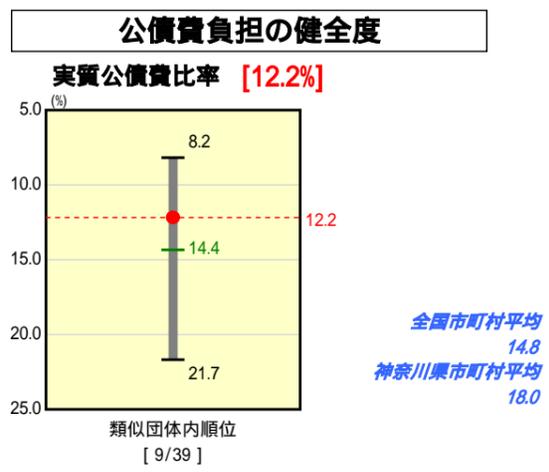
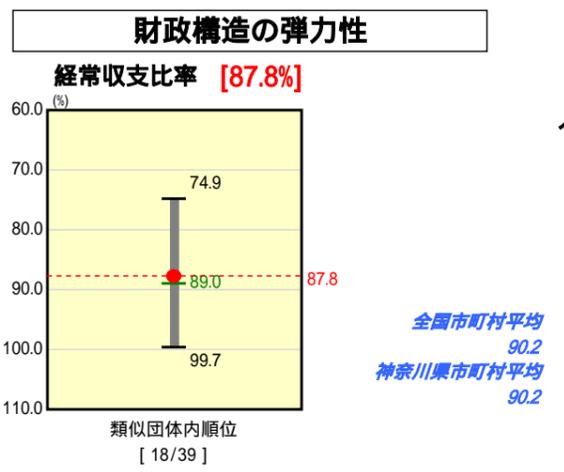
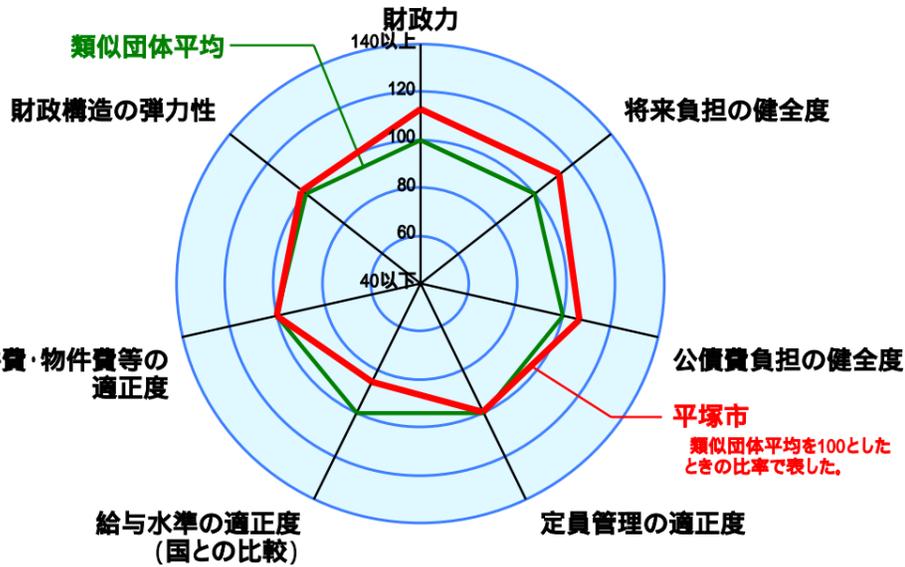
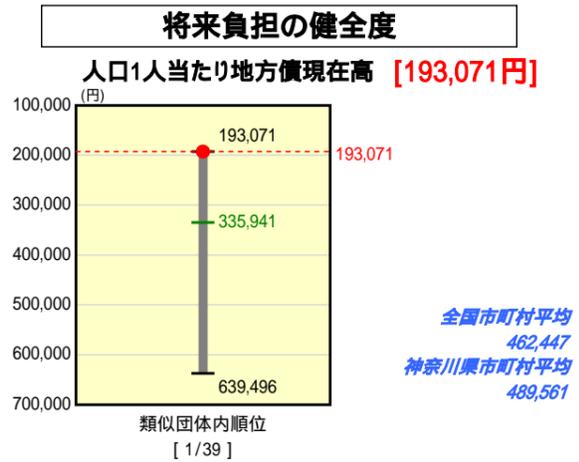
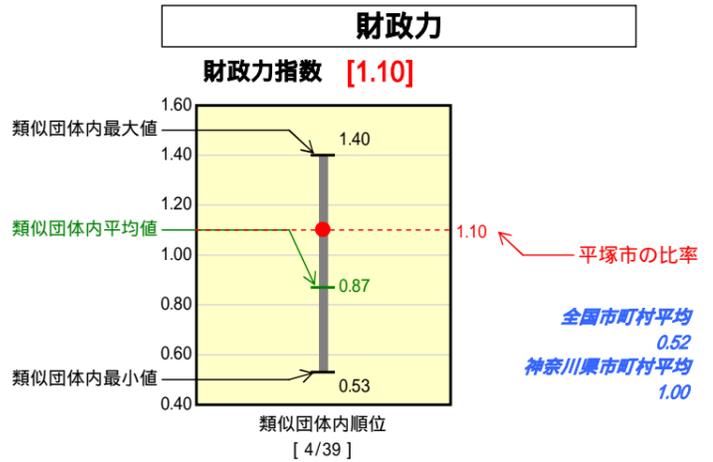


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 神奈川県 平塚市

人口	256,304人	(H18.3.31現在)
面積	67.83	km <sup>2</sup>
歳入総額	75,511,608	千円
歳出総額	73,187,848	千円
実質収支	2,097,118	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

【財政力指数】ここ4年間は連続した伸びを見せており、1.10となっている。今後とも、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】市債の元利償還の減に伴う公債費の減少などもあり、対前年度比0.3ポイント改善したうえ、類似団体の平均も下回っている。しかし、児童福祉や生活保護等に係る扶助費は増加しており、今後とも人件費の削減など行政改革への取り組みを通じて、義務的経費の削減に努め、87%未満を目指す。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】集中改革プランによる職員数の削減や委託等の見直しを進めたことにより削減成果があった。今後、より一層の経費の抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】財政健全化の観点から普通債の借り入れを抑制し、市債の償還が進んだことから、現在のところ類似団体で健全度が1位ではある。しかし、老朽化による施設の建替えなどが今後控えており、将来への負担が急激に増加しないよう引き続き財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】過去からの普通債抑制策により、類似団体平均を下回っている。今後とも、緊急度・市民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

【人口1,000人当たり職員数】類似団体の平均を上回ったが、第1次定員適正化計画(平成11～15年度)により職員削減を進めてきた。今後も引き続き第2次定員適正化計画(平成16～21年度)に基づき、事務量に見合った適正な職員配置に努め、5.3%(130人)削減の達成を目指す。

【ラスパイレース指数】給与については、人事院勧告に準じた改定により適正化に努めてきたが、引き続きより一層の縮減努力を行う。